



鶴翔 同窓会だより

庄内中学校 鶴岡中学校
鶴岡第一高等学校 鶴岡高等学校
鶴岡南高等学校

第 57 号

発行 鶴翔同窓会
〒997-0037 山形県鶴岡市若葉町26-31
山形県立鶴岡南高等学校内
電話 0235 22-0061

印刷 鶴岡印刷株式会社

2016年
平成28年11月1日発行



2016年7月22日 鶴岡南高校体育祭
私の在学中には競技の中に入ってもいなかった「騎馬戦」や「棒倒し」が男女2チームずつ各組対抗で競われた。応援の看板、応援合戦等々、五十余年前には全く無かった華やかさ、隔世の感あり。雨天も心配されたが明ければ曇一つ無い晴天。強烈な真夏の陽光を真正面に受止める、文武両道の心意気を十分にを見せて戴いた。 (撮影 地主忠夫 昭38卒 70回)



同窓会会長挨拶



第七代会長

齋藤 正志

(昭44卒 76回)

会員の皆様、鶴翔同窓会に對しまして、日頃よりご理解とご支援を賜りありがとうございます。

今年度は学校側四役（校長・事務部長・全日教頭・通信教頭）がすべて交代しましたが、同窓会との連携もスムーズに進んでいるところであります。

7月1日の創立128周年記念式典並びに記念講演も厳肅に執り行われ、祝賀会も150人規模で大いに盛り上がり、今年も素晴らしい一日でありました。

昨年度から同窓会事業として取り組んできました会員名簿（28年改訂版）は、6月、無事、発刊されました。会員の皆様には、賛助広告・賛助金・名簿の購入等、多くのご理解とご協力を賜り、ありがとうございます。発刊に伴う還元金も約110万円に達しました。創立130周年記念事業や母校への支援活動資金として活用させて頂きたいと思っております。

毎回、同窓会だより発送時においてあります維持会費と寄付金についてであります。昨年度の維持会費の納入額は何とか500万円に達することができましたが、近年増口をお願いした事もあり納入件数が減少しており

ます。今後の同窓会の安定的な運営と母校への更なる支援の為により多くの方々のご理解とご協力を賜りたいと思っております。

また、昨年度の寄付金は、一般寄付として139万円のご協力を頂きました。今年度も130周年特別事業やさらなる学校支援のために、前年同様にお願ひして参る所存です。維持会費同様、寄付金へもご理解とご協力をお願い致します。

歴代の校長先生や教職員の皆様の日々のご指導による教育の充実は目を見張るものがあり、特にSSHの取組

とその実践、鶴南ゼミによる学力の向上、海外進路研修など、意欲的指導がなされています。この事により、大学進学状況は素晴らしい結果を得ています。また、スポーツ・文化活動においても、校風の「質実剛健」の精神の下、毎年充実した結果を見せてくれ、頼もしい限りです。この様な母校の頑張り

に對して、同窓会も一致団結して支援して参りたいと思っておりますので会員の皆様のさらなるご支援とご協力をお願いいたします。最後に、本会並びに母校の発展と皆様のご健勝・ご活躍を祈念しまして挨拶と致します。

創立128周年 記念講演



東京工業大学

理学院 理学系・教授

齋藤 晋

(昭51卒 83回)

「ナノサイエンスを拓く 量子物理学」を終えて

人類は、古来、おそらく石器時代と呼ばれる時代以前から、自然界に存在する物質、さらには自らが合成した物質の示す多様な性質を様々な目的に利用し文明を築いてきました。そして、20世紀に入り、物質を構成している原子核と電子が従う物理学法則を見出したことから、その文明は新たな段階に入りました。そのミクロな世界の法則は、学問分野としては「量子力学」と称されるもので、その法則を用いた現代物理学の学問体系が「量子物理学」

です。人類は、量子力学の法則に基づいて100種類の元素に周期律が成り立つ起源を知り、さらには、各種元素の結晶が示す性質を理解できるようにになりました。高純度のSi結晶中の電子についても、その性質を理解し、利用することでエレクトロニクスに支えられた高度情報化社会を構築してきました。

この量子物理学の学問分野としての重要性は、今世紀に入りさらに高まっています。現在、今後の科学および先端技術の基盤となる最重要分野であるナノサイエンス研究分野に、先進国のみならず新興国も含め、世界中で集中的な研究投資が行われています。原子

の大きさ（オンゲストローム）よりも一桁大きいナノメートル（10億分の1メートル）のスケールで原子配置が制御された物質系が、単純に原子を集めた結晶とは全く異なる性質を示すことが1980年代からの研究により明らかとなり、人類に無限ともいえる物質科学の可能性が開かれました。そして、その無限の大海を探索する学問であるナノサイエンス研究において指針を与えている学問体系が量子物理学です。各研究分野の事典は人類の大変重要な知的財産ですが、ナノメートルスケールでの原子配置に依存して大きく変化する多様な性質は、事典には記載されていません。しかし、量子力学法則に従って方程式を解くことで、その性質を予言することができます。

私の講演では、炭素（C）原子の配置がナノメートルスケールで制御された系であるフラーレン、カーボンナノチューブ、グラフェンなどのカーボン系が、半導体から金属、さらには超伝導に至るまで多様な性質を示すことを説明し、さらに、量子力学に基づいてこれらナノカーボン系の性質の理解と予言を行ってきた自身の研究を紹介させて頂きました。量子物理学とナノサイエンス研究の面白さと重要性をお伝えすることができ、我が国がリードしてきたこれら最重要研究分野に母校の若い方々の中から新たな挑戦者が現れることを願っています。

校長挨拶



第三十三代
鶴岡南高等学校校長
京谷伸一

鶴翔同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動に対して、陰に陽にご支援・ご協力頂いておりますことに心より感謝申し上げます。同窓会のご支援と依命を受け、校長として会長や副会長と共に関西・東京・仙台・新潟・山形の鶴翔同窓会や各支部の総会、そして今年度の同窓会総会・創立祝賀会に出席致しましたが、それぞれたいへん盛会であることと同窓生の母校に対する愛情と熱意に触れ、改めて鶴翔同窓会の素晴らしさ・有り難さを強く胸に刻んでいます。

お陰様で、生徒達は健全に逞しく成長し充実した学校生活を送っております。平成28年3月卒業生の進路を見ますと、本校の国立大学合格者は、東京大学、京都大学等の超難関大学への合格を含めて132名と大健闘し、卒業生の67%が国立大学に進学しました。その一方で、部活動では、この年度はアーチエリー部がインターハイ優勝という快挙を成し遂げたことを筆頭に、運動部、文化部、そして個人種目も含め大活躍し、本校の名を全国に知らしめてくれました。学校行事や部活動で活躍し勢いのある時ほど大学進学の実績も良い、という本校の伝統をしつかりと

引き継いでいます。

学業の面で大学入試の成果と並んで特筆すべきは、本校のSSHの取り組みです。SSHは「将来の優秀な科学技術人材等の育成を図る」為の文科省事業ですが、本校では、理系だけでなく文系も含めて全校生徒が取り組む「鶴南ゼミ」をその根幹に据えて展開しているところが、大きな特徴です。ゼミの指導助言には、慶應大学先端研究や山形大学等、外部の多くの学術研究機関の先生方から支援を受けています。10月に中間発表会、2月には最終発表会が行われます。先輩方からぜひご覧いただき、後輩に助言・激励の言葉をかけてもらえれば幸いです。

長い歴史と伝統そして先進とが共存し躍進するこの鶴岡南高等学校が、今後さらなる発展を継続していただけるよう、鶴翔同窓会の皆様には変わらぬご支援・ご協力をお願い申し上げます。鶴翔同窓会の益々のご隆盛をご祈念申し上げます、あいさつといたします。

各地の鶴翔同窓会

東京鶴翔同窓会

去る6月11日、大手町サンケイホールにて第46回総会が、約280名の出席者のもと開催されました。オープニングは「恋するフォーチュンクッキー(庄内版)」の賑やかな動画と共に。そして「われらが食の都にエールを！」のテーマの通り、庄内のんめもの、いっ

ぺ用意して、締めは応援団の【鶴の舞】で大いに盛り上がりました。鶴翔の信義・友情・品格の伝統を守った素晴らしい同窓会となりました。

実行委員長 小林桂子(昭46卒 78回)



大いに盛り上がった懇親会



応援団とその仲間による【鶴の舞】

関西鶴翔同窓会

5月29日【京都権太呂】で、京谷新校長、田中副会長のご参加をいただき、関西鶴翔同窓会を開催いたしました。参加36名(初4名、同伴2名)、さら

に平成卒4名になり平均年齢が若返りました。初めて席順はくじで決めただけ、年齢差の壁(?)を超え、京都らしく着物での参加もあり、会の特徴のアットホームで和やかなとても楽しい会となりました。

今年も母校野球部の関西遠征に協力しました。 吉田芳子(昭45卒 77回)



平成28年度は京都で開催



田中副会長も交えて

仙台鶴翔同窓会

去る8月27日(土)午後3時から「シエルプール」(仙台市青葉区)に於いて、鶴翔同窓会齋藤正志会長、鶴岡南高校京谷伸一校長のご来賓を得て今年度の総会が開催されました。議事においては、年間活動報告・会計決算報告及び今年度活動計画・会計予算案について全て異議なく了承可決され、さらに今回は役員改選の年に当たる為、当会長より新役員の提案もありましたが、満場一致承認され総会は終了。その後、齋藤会長のご挨拶を頂戴し、同窓会の近況、会員名簿発刊における協力謝辞、そして、維持会費の依頼等のお話を受けました。京谷校長からは、母校の教育状況、生徒の学業実績や部活動の活躍状況を説明され、大変頼もしく感じ



平成28年度仙台鶴翔同窓会第38回定期総会

入りました。

恒例のミニ講演は、太田弘氏(昭57卒)が真田丸ブームに因んで「みちのく六文銭物語」と題し、血脈を遺した戦国武将の知恵をプロジェクトを用いて紹介し、大変な高評を得ました。

最後の懇談会も、長時間にわたり、母校や郷里、学生時代の話に花を咲かせ、絆を深めて散会となりました。

事務局長 阿部 清 (昭32卒 64回)

山形鶴翔同窓会

第34回総会は9月7日、山形グランドホテルにおいて、滝川副会長、京谷



加賀山前会長の音頭で乾杯



高評を得たミニ講演会

校長等を来賓に迎え参加者総勢79名が大いに旧交を温めました。中でも平成以降の若手が、昨年の8名から15名と大幅に増加したことは、組織の底辺拡大を目的に、役員一人5人への声掛け運動を行った成果であり、今後の同窓会の発展を期す上で意義深いことです。総会は大変盛り上がり、来年の35周年総会には出席者100名を目指し、一同再会を約束しながら終了した次第です。会長 池田 惇(昭39卒 71回)



出席者100名を目指し、張り切る次期実行委員

北海道支部(鳴鶴会)

6月11日、札幌ガーデンパレスホテルにて北海道支部鳴鶴会総会及び懇親会が開かれました。当日は、本部より田中副会長をお迎えし、大学生2人を加えた総勢23名の出席でした。田中副会長より、故郷鶴岡の近況と母校の在校生の活躍の様子をお話していただき、楽しい宴の締めは、今年もピアノ伴奏付きでの校歌斉唱です。みんな声高ら

かに「山河の姿」と「豊嶺月峰」を歌い上げ、来年の再会を約束しました。

幹事 大森由美(昭59卒 91回)



鳴鶴会総会に出席の面々



近況報告

新潟支部

今年の新潟支部の活動として、6月25日(土)に新入生歓迎会を、8月20日(土)に支部総会を開催しました。今年で3年目となる新入生歓迎会には

3名の新潟大学の学生さんに参加いただき、未来を語りながらの楽しい会となりました。また、総会には京谷校長と黒澤同窓会副会長にお越しいただき、「新潟支部人物列伝その2」佐藤巖：「物語」の企画があり、また、3名の初参加者も加わって、予定時間を超えて旧交を温め盛会となりました。

通友会

第55回の鶴南通信制課程の同窓会「通友会」総会を5月7日（土）藤島



支部総会（京谷校長・黒澤副会長を囲んで）



3名の学生の参加を得た歓迎会

事務局長 大滝 一（昭50卒 82回）

の割烹春月で開催しました。当日は京谷校長、通信の佐藤教頭、恩師の松田先生、会員30名の出席がありました。最初に校長より挨拶、学校の近況報告。続いて総会を行い、藤の花祭りに参加。丁度満開で沢山の入出で賑わっておりました。その後、懇親会に入り、思い出話や近況について話が弾み旧交を温めました。最後に輪になって校歌を。来年は酒田で逢いましょう。

酒田支部

第32回酒田支部総会は平成27年11月15日、酒田セントラルホテルにて、講師に県教育委員長の長南博昭先生、本部からは齋藤正志同窓会会長並びに中條芳男副会長、柴田曜子校長をお迎えし、合わせて25名の参加で盛大に開催しました。木田昭三支部長を始めとする役員紹介の後、長南先生の講話



平成28年5月7日（土） 於 鶴岡市藤島 割烹 春月

会長 中條芳男（昭49通卒 18回）

「今、本当に必要なものは？」をお聞きし、その後の懇親会もたいへん盛り上がりしました。

幹事長 杉原丈夫（昭39卒 71回）

余目支部

平成27年12月13日、鶴翔同窓会余目支部総会が12年ぶりに開催されました。平成15年の第3回総会以来、支部活動は休止の状態が続いていましたが、多くの会員の要望を受けて、支部長等役員並びに事務局体制を整えて活動を再開することができました。

本部より講師並びに来賓として副会長の國井英夫様、校長の柴田曜子先生を、さらに庄内町から副町長の奥山賢一様を来賓にお迎えし、会員24名の参



酒田セントラルホテルにて



國井副会長による講話



鶴翔同窓会余目支部総会 平成27年12月13日 於 和心

加を得て盛大に開催しました。事務局長 水尾良孝（昭49卒 81回）

羽黒支部

28年度の羽黒支部総会が、県内初の日本遺産に認定された出羽三山の里手向にある早坂支部長の自坊「大進坊」において、6月24日、会員15名の参加により開催されました。

来賓の齋藤会長と京谷校長先生から、同窓会の活動状況や南高生の文武に渡る活躍を拝聴した後、懇親会では名簿トップの水口先生から元気を頂き、ユネスコ食文化創造都市鶴岡の「大進坊の豪華精進料理」と相沢社長ご提供の「白露垂珠」の組合せを堪能し、今年も大いに盛り上がりました。

事務局 佐藤潤到(昭53卒 85回)



平成28年度 鶴翔同窓会羽黒支部総会 平成28年6月24日 大進坊

櫛引支部

鶴翔同窓会櫛引支部の集いは2月11日の建国記念の日に、くしびき温泉ゆ〜Townを会場に開催しました。金内勝雄支部長を始め10名の同窓生が集い、鶴翔同窓会から田中芳昭副会長のご出席をいただきました。



平成28年2月11日 くしびきゆ〜Townに於いて

数年前まで南高の校長も務められていた田中副会長。最近の学校の様子や同窓会のお話には大変懐かしくまた頼もしく感じたところです。

恒例の研修会ではビデオ上映も交えながら「くしびきこしゃってプロジェクト」のお話を同窓生の佐藤文博さんに伺いました。年4回の開催に毎回千人以上が参加して物産や交流を楽しむ手作りのマルシェとのこと。地域を担う若者の元気と活力に大いに感心させ

られました。櫛引支部の集いは毎年この時期に開催しています。これからも同窓生の交流や情報交換、また出合いの場などにもなっていけたらと思っています。

事務局長 宮崎 哲(昭56卒 88回)

朝日支部

平成27年11月21日、田麦俣の「民宿田麦荘」において、来賓に坂尾聡鶴岡南高校教頭をお迎えし、会員13名が参加して、久々に総会が開催されました。総会では、空席となっていた支部長に小野寺孫氏(昭31卒)を選出し、今後とも、会員相互の交流と親睦を図ることとしました。なお、年代を考慮した役員選出が今後の課題となりました。



鶴翔同窓会朝日支部総会 平成27年11月21日 於 田麦荘

懇親会では、母校の活躍や現役時代の話で大いに盛り上がりました。

事務局長 佐藤利浩(昭50卒 82回)

鶴南会

鶴南会とは、主に村山地域に在職する山形県職員の鶴岡南高校同窓生によって、毎年1〜2月頃に開催している同窓会のことです。

鶴南会は、諸先輩方の声かけにより始まったものであり、会員制ではなく、鶴岡南高校の同窓生同士が親交を深められる場として、若手職員が幹事となって開催しております。

平成27年度の鶴南会は、平成28年2月3日に、山形市の能登屋瑞宝閣に於いて開催されました。当日は、雪もちらつく水曜日ではありましたが14名が集まり、同窓会本部の齋藤正志会長にも遠いところご参加いただきました。

参加者は、年代も幅広く職種や職場も多岐に渡っており、初対面の方もいらつしゃいました。参加者全員から卒業年度と出身地、高校時代の部活動等を盛り込んだ自己紹介をしていただき、すぐに皆さんの距離も縮まり、その後の歓談も大いに盛り上がりました。鶴南会を長年にわたって支えてくれた先輩方の温かいお心遣いもあって大変和やかな雰囲気のもと時間はあっという間に過ぎ、最後に毎年恒例の参加者全員による校歌斉唱を行い、元応援団によるエールで閉会となりました。

高橋ゆり(平19卒 114回)

恩師からのたより

本校在職期間
思い出や近況、メッセージ等
専門教科
顧問歴



菅原 智 先生
(昭55卒 87回)

平12・4・1〜18・3・31【全日】
平24・4・1〜現在 【通信】
倫 理

陸上部(3年)・水泳部(3年)【全日】
陸上部(4年)・

バドミントン部(1年目)【通信】

全日制での6年間はあつという間に過ぎた気がします。公民科目を中心に担当し、多くの生徒を睡魔との闘いに導いたのですが、3学年の選択科目での倫理は1〜2人の選択者しかなく、思想家や思想の中身を生徒と楽しくおしゃべりしながら学習を進められて楽しいなと思いました。また、科目の選択者でない生徒が思想家についての話を職員室に聞きに来たのは本校の全日制では初めてだったのでとても嬉しかったです。

クラスHRの時間は、それまでになく自由に使え、お菓子屋さんのスイーツの食べ比べしたり、杓と臼で餅つきをして食べたりと、とても楽しい時間でした。(そういう時のクラスのみ)

なは手際がとてよかったです。)

部活動でもいろいろな思い出があり、今の自分を作っているなと思います。現在の通信制でも生徒一人一人と密に接する機会が学習でも部活動でも多くあり、ある意味、学校生活の原点があるように思えます。

それらを書ききることはできませんが、この文章を考えるにあたり、改めて自分にとって意味あることがあつたのだと考えさせられました。

ここ数年、ジョギングを楽しむようになり市民マラソンの大会にも出たりしています。これもその一つですね！



丸谷 浩之 先生
(平3卒 98回)

平23・4・1〜現在 【全日】

地理歴史(地理)

男子バレーボール部(4年)

卓球(2年目)

赴任1年目は教材研究に没頭し、地理というものの学問の面白さに改めて感動し、この感動を何とか次の日に生徒に伝えられないものか...と、がむ

しゃらでした。授業の中では生徒の皆さんの鋭い気づきに「なるほど」と思い、後にもっと深く調べてみると新たな発見があつたりと、日々、授業をしながら自分自身が皆さんから刺激を受けてきたような気もします。授業本番は度々あらぬ方向に脱線？してしまい定期試験前は猛スピードで進めざるを得なくなつたのは皆さんが承知の事実でしょう。反省。

3年間担任した生徒の皆さんは個性豊かな優しい面々でした。日々いろいろなことがあり、3年間、本当にドキドキ楽しみながら過ごさせてもらいました。本当に楽しかったです。

4年間、顧問をさせていただいたバレーボール部も良い部員に恵まれ、アウトホームな雰囲気の中で活動することができました。新入生歓迎会部発表での才能あふれる内容には毎回驚きの連続でした。また一時、部員が2人となりビーチバレー大会に参加した時、台風間近の強風の中、湯野浜海岸で練習したことも良き思い出です。

現在は1年生副担任をさせて頂き、入学したての1年生を初々しく懐かしく思うとともに、2年後、さらには将来を見据えてどのように成長をサポートしていけばいいのか楽しみにしている日々です。

赴任時に3人になった我が家の三太郎も(あの米と麦とキノコです)もう中学、小学の生意気盛りです。昨今のブチラグビーブームか、親への気遣い

か、ラグビーに少し興味を持ってきています。

同窓会員となられた皆さん、自分が高校時代に描いた夢や希望はどうなっていますか？もし迷つたり希望を見失つたりしているならば、たまに学校に来て、あの頃の自分に会つてみるのはいかがでしょうか？地元はもちろん日本、世界での活躍を応援しながら鶴岡の地で、近況報告を楽しみにしています。



佐藤 留里 先生
(昭60卒 92回)

平18・4・1〜28・3・31【通信】
数 学

卓球部(10年)

数学の学習では、たくさん生徒が個人学習を利用しながら熱心にレポートに取り組んでいたことが思い出されます。レポートができ、テストに合格した時の笑顔は忘れられません。

部活動では一緒に卓球をするのがとても楽しく、生徒達が上達していくのを見ることはとても嬉しいことでした。卒業生の皆さん、いかがお過ごしですか。これからも、共に笑顔で過ごしていきたいと思います。

この4月から鶴岡中央高等学校の勤務となりました。お出での際は、是非声をおかけください。

お久しぶりです!! 各地で活躍の会員から

坂田 順一(昭30卒 62回) 鶴岡在住



中学校は二中だった。職員室に呼ばれた。進学校はどこと云われ、南高校と答えた。受験テストの覚えはない。担任は一年

五組から三年間秀才と呼ばれた阪大卒の斉藤雄也先生だった。早速ウーマンのあだ名がついた。月一回のテストがあり順番をつけて廊下に貼り出された。

通学路は北高前、美人女性に会えそうな時間を選んで通い、会えた日は、

今日のテストは一〇〇点と自分に言い聞かせた。しかしどうしても勝てない二人がいてテスト結果の貼り出しで三番目以上になった事がなかった。一番は東大で今でもおいらの親友だ。二番は京大。家庭の事情で自分は東北大を選んだ。桜咲くの電報、腹の底からこみ上げて来る嬉しさが止らない。あんな経験は今だにない。56才円満退職。二千万の退職金は株で3〜4倍にし、柏の自宅を息子夫婦に譲り、帰鶴し、親から譲り受けた自宅も新築し、鶴南倶楽部62回卒5組坂田塾の看板をかけて、同期生の懇談の場とした。あとは釣三昧の毎日。障子紙二本分の黒鯛の魚拓がある。今でも週一回のマージャン会として、塾は続いている。



同級生の釣り仲間

中村 範明(昭52卒 84回) 東京在住



母校を卒業し来年度は40年目に当たる。このことで、寄稿依頼を受け、改めて月

日の流れの速さに驚いています。卒業後、大学生活、社会人生活の殆どを東京で過ごしてきました。仕事の関係で休暇も不定期、緊急時の対応の要ありとのこと(都合の良い言い訳)から、帰省も数年に一度となってきました。そのような状況にあるものの、年を重ねると共に、郷里への思いは強くなってきていると実感しています。大学は文系に進むつもりで、その分高校時代は理系の勉強をしようと思いい、理数科に進みました。数と理科四科目を、ますます勉強は苦痛でしたが、

良いクラスメートに恵まれ、楽しい高校生活を送ることができました。

このようなへそ曲がりの性格から、大学卒業後、当時は全く人気がない防衛庁に入庁し、仕事をしてきましたが、そろそろ役人生活の終わりを迎えるに当たり、我が国が大きな紛争に巻き込まれることもなく、平和と独立を維持できたことについては、大いに安堵しているところです。

重圧から解放される退職後は、郷里の訪れたことのない各地を訪問することを楽しみにしています。

鈴木 良清(昭52卒 84回) 千葉在住

サミュエル・ウルマンが一九二〇年頃に「青春」という題の詩を創作した。山形大工学部の先生が偶然この詩と出会ったことに感激した人は少なくなく、その内容に感銘した人は少なくなく、松下幸之助氏を始め、この詩を座右の銘とする企業トップが多いと聞く。

その冒頭部分。『優れた創造力、逞しき意志、炎ゆる情熱、怯懦(きょうた)を却ける勇猛心、安易を振り捨てる冒険心、こ

う言つ心の様相を青春と言つのだ。』何事に対しても関心を持ち、積極的であり、挑戦的である精神を、「青春」と呼ぶ。この気持ちを持ち続ける限り青春を謳歌できる。十代であっても、無気力・無感動・無関心であれば、青春真つ只中とはいえない。

鶴岡同窓会に集う皆さんは、まさにこの「青春時代」を過ごしている方々

ばかりであろう。何十年前のいわゆる「青春時代」を思い出しながら、創造力、意志、情熱、勇猛心、冒険心」を持って取り組んでいること、これからチャレンジしたいことなども、紹介し合おう。助言や支援、新しい仲間を得ることができるかもしれない。

ウルマンはこう締めくくる。『大地より、神より、人より美と喜悅、勇気と壮大そして偉力と靈感を受ける限り、人の若さは失われない。』

佐藤 俊之(昭54卒 86回) 京都在住



実は二十年ほど前にも寄稿させていた。私がおもてなすという風変わりなことに携わっていることを面白がって、「能役者として何か書け」とお声掛け下さったのが、当時事務局長の金井一雄先生でした。在校中、国語を担当して下さった先生の語りぶりは極めて穏やかで、さりながら文学、ことばに対する愛情が溢れ、三無主義、シラケ世代と誇られた我々のエネルギー不足の心を温かく励ますものでした。その先生も鬼籍に入ってしまったました。

南高に入学してから四十年。畏友小池将公君、菅原邦夫君、齋藤洋一君の早逝、こちらの性格的欠陥を意に介さず大きな心で包み込む器と格の高い魂を持つていた彼らでした。どうしてよりによって彼らが、と意を同じくする同級生は多いはず。皆と共に改めて



で感謝の気持ちを捧げたいと思います。能を演ずる時、出を待つ間、今は亡き肉親、友人知人の面影が思い浮かんでくることがあります。能は、神仏、死者の霊など目に見えぬもの、また生ける観客の魂に捧げるものです。能を仲立ちにして、この世ならぬ存在とこの世の人間の魂が同じように喜び、悲しみ、一体となれることを理想としています。

奈良を拠点にしていますが、他地域でも、例えば大阪では十一月二十六日生野区民会館で「翁」を、また東京でも、国立能楽堂で十一月十三日「葛城」、来年三月十二日に「葵上」を演じます。未熟の芸ですが、お近くの方々に御覧頂けましたら幸いです。

里見 嘉英(昭62卒 94回) 東京在住

高校卒業と同時に鶴岡を離れ早三十年。大学では生物学を専攻し、北海道での大学院時代を除くと東京での生活が大半を占めるようになりました。

高校時代は野球ばかり、時間があれば映画に行く生活でした。今でも相変わらずですが、元来、動物と研究が好

きで、仕事柄八年前には博士(獣医学)の学位を得、また、趣味としてもガラパゴス諸島に行くなどして楽しんでいきます。

また、庄内の郷土史も好きで、先日、酒田市立資料館を訪れた際には、勤務先の帝人の創設者久村清太が荘内中学の卒業生(第六回)であることを知りました。独力で、日本で初めて化学繊維レーヨンの製造技術を確立した研究者です。久村の若き研究者に向けた言葉「諸君は、まず自らを磨き、才能を育てること、努力することが必要である。これなしには人間の価値がない。しかし、いま一つ大切なのは、人格の養成である。これによって、相互の間に信頼感が生じ、また友情が起こって、相携えて進むことができるのである。」

鶴岡では、近年、クモの糸を人工的に作り出すことに成功したスパイバー社などが産声を上げていと聞きます。政策と人材とが結び付き、庄内発展の礎となることを願っています。

石井 優(平9卒 104回) 東京在住



高校時代を振り返ると、声楽とピアノの練習、受験勉強に忙しかったはずなのに、思い出すのは友人達と楽しく遊んでいたことばかりです。

私は今、オペラを中心に、ソプラノ歌手として活動しております。オペラの役は年齢ではなく、声の音色や声域

によって演じる役が決まります。私の声に当たる役は、青春真っ只中の若い娘役がほとんどで、この歳になっても舞台では愛や友情に喜び、泣き、笑い…高校時代にしっかりと青春を謳歌したことが役立っているように思えます。今力を入れている活動は、オペラは敷居が高いとお思いの方にも気軽に楽しんでいただけるよう、見応えある名場面を集めたり、お喋りを挟んだりした演奏会の企画、運営です。文化会館が新しくなり、鶴岡でも一層様々な音楽に触れる機会が多くなることと思います。一流の演奏はそれだけで心を震わせられますが、舞台の背景や聞きどころを知れば、より深い感動を味わうことができます。

映画「ゴッドファーザー3」で正装したアルトベツロがオペラを乗り降りして楽しんでいる様子、あんな風に、日常でオペラに親しんでおき、いざという時に正装してめいっぱい楽しむ、そんな手助けができれば幸いです。

白幡 祐子(平14卒 109回)

ニカラグア在住
昨年9月末に青年海外協力隊・作業療法士として中米・ニカラグアに赴任し、ヒノテガ市にある「Ros Pitos Jinetega(ロス・ピートス・ヒノテガ)」という障害児・者支援の非政府組織(NGO)で活動しています。

私が所属するロス・ピートス・ヒ



祐子さん

ノテガでは言語療法、早期療育、特別支援教育、スポーツ、心理ケア、青年クラブを活動の柱に、県内約200家族を支援対象とし、職員10人と障害者、その家族や友人などのボランティアで運営されています。

私は青少年の生活スキル向上を目的としたグループを担当し、セルフケア、家事、余暇活動など生活全般におけるリハビリテーションに取り組みしています。料理や外出、掃除などの日常動作からコミュニケーション、感情表現の練習など様々なアクティビティを用いて、一人一人に合った支援を目指し活動しています。言語、生活習慣、文化、気候等、日本との違いや、以前は当たり前に使っていた物品がないことに戸惑うこともあります。日本で得た知識と経験をもとに、「現地の同僚や当事者、家族とともに作り上げる」ことを心がけ、より良い支援の実現を目指して、今後も活動していきたいと考えています。

野球部OB会

1 OB会結成の時期

昭和28年ごろ、当時法政大学硬式野球部で活躍された第二代OB会長の早坂豊太郎氏が帰郷した際、大学にあったOB会組織が本校野球部にも必要であると考え、地元の名士で松屋スーパ一の経営者であったOBの真島敬一氏に相談。苦労の上、立上げたと聞いています。

2 現在の役員

初代会長真島敬一氏（第32回卒）
二代目会長早坂豊太郎氏（第58回卒）を経て、三代目会長（現在）阿部信矢（第72回卒）、副会長三浦進（第71回卒）、事務局長金内理（第92回卒）の体制となつていきます。

3 苦労したOB会名簿作り

前記の通り、かなり以前から存在していたOB会組織ではありませんが、実際に活動を開始したのは昭和57年頃。「庄内から甲子園に」を目標に設立された平田杯の創設者平田吉郎氏の孫で、東京大学OBの平田正氏の多大なるご尽力により、昭和57年3月に東京大学野球部の練習会に参加できる機会を頂きました。その遠征費用を捻出すべくOB会費

として徴収したのが始まりと聞いています。（因みに私も遠征に参加させて頂きました）当時の事務局長で現在鶴岡野球連盟会長の渋谷益生氏（第70回卒）の話によれば、それまでOB会名簿なる物は存在せず、鶴岡同窓会発行の卒業生名簿を片手に野球部のOBと思われる方々を訪ね歩き、約半年をかけて作成したそうです。名簿に搭載されている最古参は第21回（明治44年）卒の保科直也氏であります。現在は名簿も整備され本年度卒業予定の12名を加えると総勢684名を数えます。

4 現在の取り組み

OB新年会（毎年1月2日開催）平成28年は54名の参加を頂きました。全員で校歌（山河の姿つるわしく）を熱唱します。ただ御大の方々にとつての校歌はあくまでも「鳳嶺月峰」であるとのことです。（お叱り）



OB会新年会（H28.1.2）

選手激励会への参加

春・夏・秋・受験と年4回の選手激励会にOBも参加します。特に夏の甲子園予選の激励会には多数参加し激励品として公式球10ダースを贈

呈しています。また近年は、グラウンドの整備に對しても金銭的な助成を行つています。



3年生激励会（H27.11）

夏のOB野球（現役VSOB）

昨年までは夏の行事としてゴルフコンペを行っていましたが、「野球部はやはり野球をするべきである」との一部の声に押されて本年から現役VSOBの試合を行いました。果たして集まるのかとの不安もありましたが、予想に反し、上は50代（第92回卒の飯塚選手・佐賀井選手）をはじめ総勢30名を超す（昔の）選手が参加。中には親子2代での出場の方もいらつしやいました。結果は、さすがにブランクには勝てず、僅差で現役に花を持たせる結果となりました。



OB対現役（H28.8.14）

た。来年以降も8月14日をその日と定め、継続していきたくと考えています。

5 ホームページ・フェイスブック
平成25年からホームページ（重要なお知らせ用）・フェイスブック（試合予定・速報・結果用）を開設しました。特にフェイスブックは20代・30代の若い利用者（約150名）が多いです。新年会のご案内は全会員に葉書にてご案内して

いますが、届いていない方、最近引越された方などはHPからメールにてご案内頂ければ幸いです。（鶴岡野球部OB会で検索可能です）



3年生へOB会よりストラップの贈呈（H27.11）

6 在校生に向けて

間もなく創部110周年を迎える伝統ある野球部です。悲願の甲子園出場は当然期待していますが、それ以上に野球を通じて人間性を磨き、母校を誇るのでなく、母校の誇りとなる人物になることを希望しています。私たちOBも全力で応援します。最後になりますが、鶴岡南高校の在校生・卒業生の皆様の益々の活躍をご祈念いたします。

野球部OB会事務局 金内理
（昭60卒 92回）

報告

部活動や委員会のOB会を紹介します

OB会

が、どうしてもオーケストラのような演奏を経験してみたいという想いが



全日本吹奏楽コンクール全国大会 H24.11.1名古屋国際会議場
中央は当時の校長田中芳昭氏

吹研OB会

「吹奏楽研究会」という名称は、昭和40年頃に、現OB会の会長である山澤昭彦氏をはじめ当時のメンバーが相談して決めました。それまで、プラスバンドの活動は応援団の伴奏ぐらいの状況でした

「吹奏楽研究会」という名称には込められています。その想いは現在も同じで、近年コンクールで演奏している曲のほとんどがオーケストラの作品です。創部当時の想いが脈々と現在も受け継がれています。

さて、吹研OB会は、平成21年3月に正式に発足しました。OB会は「鶴南吹研の活動に対しての支援」「会員の親睦と部員の交流」「地域の音楽文化の育成」の3つを柱として活動しています。活動の成果として、OB会の

寄付によりオーボエ、バスクラリネット、アルトサクソフフォン等の楽器を寄付してきました。また、現役の活動も全日本吹奏楽コンクールの東北大会常連校としての実績をつくり、平成24年には、指揮蛸井朗氏、課題曲「香り立つ刹那」、自由曲「サロメ」七つの

ヴェールの踊り」で悲願の全国大会出場を果たすことが出来ました。また鶴南吹研は、アンサンブルにも定評があり、平成11年にクラリネット四重奏（長南暁子氏、長南順子氏、三浦佳恵氏、花岡菜生氏）オーディション

のための6つの小品」で全国大会1位という偉業を達成しています。このように現役は県内有数の活動



第23回 全日本アンサンブルコンテスト
2011年3月18日、愛知県立総合文化ホール

を展開し、吹研OB会はそれを非常に上手くサポートしています。

現在、OB会の役員は、会長山澤昭彦氏（昭和40卒）、副会長真島俊夫氏（昭和42卒）、帯谷伸一氏（昭和57卒）、事務局長宮崎哲氏（昭和56卒）、事務局員蛸井朗氏（昭和58卒）犬塚晴夫氏（昭和59卒）大伴あゆみ氏（昭和59卒）梅津久美氏（昭和62卒）監事小松幸樹氏（昭和55卒）志藤彰氏（昭和61卒）という組織で運営しています。

実は、副会長である真島俊夫氏が今年の4月21日にご逝去されました。真島氏は、日本の吹奏楽界を代表する一人でした。代表作品には1985年度全日本吹奏楽コンクール課題曲となつた交響詩「波の見える風景」、他にも「コラル・ブルー」、「五月の風」、「虹は碧き山々へ」、「3つのジャポニスム」、「富士山」北斎の版画に触発されて」

などがあります。2006年には「鳳凰が舞う」印象：京都、石庭、金閣寺」はフランスのルールで開催された「クードヴァン国際交響吹奏楽作曲コンクール」でグランプリを受賞しました。

このような偉大な先輩を偲び今年6月4日にグラランドエル・サンで「真島俊夫氏を偲ぶ会」をOB会を中心にした組織で開催させて頂きました。

この場を借りて再度故人のご冥福をお祈り申し上げます。



故 真島俊夫氏

この場を借りて再度故人のご冥福をお祈り申し上げます。

現在、吹研の定期演奏会が半世紀を超えました。記念演奏会を計画中です。新文化会館の完成に合わせて開催を計画中で平成30年5

月開催を考えています。内容は、記念演奏会・親睦会の開催、記念誌の発行等考えています。そのためには、OB会の組織をさらにしっかりしたものにしていきます。毎年3月に必ずOBへ会報を郵送していますが、転居等で住所が不明の方々が数多く存在しています。インターネットで鶴南吹研を検索して頂けますとOB会のFacebook・Bookが直ぐに見つかります。問い合わせ先にメールを頂ければ、これまでの資料等郵送させて頂きまので連絡の来ていないOBの方々にはよろしくご協力お願い頂ければ幸いです。

最後に、鶴南吹研から人生を学び、仲間を得て、音楽の素晴らしさを体験させて頂きました。これからもOB会は、吹研がそのような場であり続けるために陰ながら支援していくことを約束し、この文章を締めくくりたいと思います。

吹奏楽研究会顧問 蛸井朗（昭58卒 90回）



OB会設立打合せ風景
左から 顧問 蛸井朗氏、元顧問 小松幸樹氏、会長 山澤昭彦氏、事務局長 宮崎哲氏



40th

嗚呼！同期の絆

昭和61年卒30周年

去る8月13日に卒業30周年を記念しての同窓会を開催いたしました。当日は、グランド・エル・サンを会場に、当時お世話になった学年主任の佐藤晃先生をはじめ、各クラス担任の先生をお招きして113名と多くの方々より出席をいただき、盛大に開催されました。先生を囲んでの記念撮影後に宴会場へ移動し、実行委員長からの台湾での進路研修旅行など、現在の鶴岡南高校の情報提供も行われました。その後、先生方からの簡単な挨拶の予定が、松浦孝一先生が口火を切り一人約10分以上の挨拶となり、壇上上がった先生方には腰をかけるための椅子が登場するというハプニングもありました。先生にとっては30年たっても、我々があの頃の生徒であることには変わらないものなのだあと強く実感いたしました。

恩師方の近況とありがたい健康トークをいただいた後は、いよいよ懇親会です。20周年同窓会に参加しなかった方々は、卒業以来に顔を合わせた人もおり、ネームプレートを確認しながら当時の思い出話で大いに盛り上がりました。懇親会は鶴岡南高校校歌と「鳳嶺月峯…」の鶴岡中学校校歌を斉唱し、



20th

平成8年卒20周年

第103回生の卒業20周年の同期会が8月12日、湯野浜温泉「亀や」に於

株式会社 荘内銀行

代表取締役頭取 **上野 雅史** (昭和51卒・83回)

荘内銀行 [本店所在地] 〒997-8611 鶴岡市本町1丁目9番7号 [電話] 0235-22-5211(代表)

医療法人社団久医会

池田内科医院

院長 **渡邊 秀平**
(平成8卒・103回)

〒997-0034
山形県鶴岡市本町三丁目17-17
電話 0235-23-6166

株式会社 **荘和設備工業**

代表取締役 **佐藤 正晴**
(昭和61卒・93回)

山形県鶴岡市伊勢横内字畑福16
TEL 0235-22-2466(代) FAX 0235-22-2476
URL <http://www.showa-setsubi.com/>



内科・循環器内科

犬塚医院

院長 **犬塚 博** (昭和51卒・83回)

〒997-0034 山形県鶴岡市本町2丁目11-15 TEL(0235)22-0283

昭和51年卒40周年

「たのしい」の掛け声での、写真撮影。カメラマンは、今や一流プロカメラマンの一組出身、渡邊春信君。ここから第八十三回卒、卒業四十周年の同期会が始まる。平成二十八年九月十八日、あつみ温泉萬国屋。

恩師の山岸文章先生、斎藤勝郎先生、菊地善教先生、東野彰先生を迎え、総勢九十名。四十年ぶりに会う仲間は、頭も、体型も変わったやつもいる。高校時代の顔つきがそのままのやつもいる。

一番遠い、広島から来た五組斎藤藤原君の乾杯の音頭で祝宴開始。

酒を飲み交わすうちに、全員が高校時代にもどり、当時の思い出話に花が咲き、時間の経つのも忘れ盛り上がりました。

最後は、当然のことながら「山河の姿」を応援団、一組佐藤守君、六組小野寺尚君が指揮を取り、熱唱して祝宴は終了。熱気冷めやらす、二次会に突入。四十周年記念同期会は、この様に終了。五年後、十年後再会しよう。

同期のみんな、実行委員のみんなに感謝
(滝川義朗)



締めとなりました。懇親会、2次会終了後も、会場を移し、時間を惜しみながら夜中遅くまで語り明かした方もいるようでありました。10年後?の開催を楽しみにしております。
(高橋修也)

いて開催され、学年主任の滝口孝志先生、1組佐藤敬司先生、2組青木良子先生、3組榎本弘先生、4組河口昭俊先生、6組野崎剛先生からご出席を頂き、先生方、同期生合わせて123名の参加となりました。

当日は、参加者全員での記念撮影に始まり、ご逝去された仲間たちに黙とうをさされた後、滝口先生のご挨拶、榎本先生の乾杯で祝宴が進められました。創立128周年記念祝賀会で披露した有志による太鼓の演奏もあり、宴を大いに盛り上げてもらいました。先生方には当時の思い出と激励のスピーチを頂き、残念ながら出席できなかった5組の大沼晋先生からも懐かしく温かいメッセージが届き、紹介させて頂きました。

久しぶりに会う仲間も多く、クラス毎に先生方を囲み、仲間と高校時代の思い出や近況を語り合い、20年前に戻ったかのような楽しい時間となりました。最後には青木先生指揮のもと校歌を斉唱し、有志によるエールで1次会を閉じました。そして、先生方の参加も頂き、2次会、3次会へ。

次の同期会は10年後、今回以上の参加者でまた盛大な会に出来ればと思います。皆さんお元気で、またお会いしましょう。

最後に事前準備や当日の司会・受付等ご協力を頂いた実行委員の皆さん、本当にありがとうございました。
(松本晃一)

地域に根ざし、より多くのお客様に感動を!

株式会社日本旅行東北

山形・庄内支店長 阿部 浩一 (昭和61卒・93回)



山形支店 〒990-0039 庄内支店 〒997-0015
山形市香澄町2-2-36 山形センタービル 鶴岡市末広町6-17 えきまえビル
TEL 023-631-2295 FAX 023-631-2297 TEL 0235-22-2238 FAX 0235-22-2227

眼科 福原 医院

福原 晶子 (昭和51卒・83回)

〒997-0034 山形県鶴岡市本町2丁目2 45 TEL(0235)22 7714

株式会社 山 喜

代表取締役 佐藤 喜代志 (昭和51卒・83回)

〒997-0034 山形県鶴岡市大東町14-12
TEL 0235-22-0013 FAX 0235-28-2517



株式会社 東邦設計コンサル

代表取締役 佐藤 守 (昭和51卒・83回)

取締役 金内 宣広 (平成7卒・102回)

測量士 佐藤 康介 (平成19卒・114回)

〒997-0051 山形県鶴岡市荒井京田字荒田 263 番地 20
TEL 0235-25-0302 FAX 0235-25-0964

在校生の活躍

全日制の課程

今年度もインターハイをはじめとする各種上位大会に数多くの生徒が出場しました。

【インターハイ】

弓道部

女子団体 予選通過

決勝トーナメント一回戦進出

鶴南12 14 慶應女子

アーチェリー部

男子団体 予選14位

決勝ラウンド一回戦

鶴南2 6 三本木農(青森)

水泳部

女子200mバタフライ

五十嵐悠 B決勝進出 16位

【全国高校総合文化祭】

科学部

ポスター部門

化学発表部門

発表

発表

【その他の全国大会】

全国高校陸上選抜大会

女子2000m障害

須貝美齡

予選10位

全国SSH生徒研究発表会

岡部晴子、苑原雄也

五十嵐水月

日本進化学会2016年大会
高校生ポスター発表部門
岡部晴子 最優秀賞

将棋(設置外活動)

全国高校将棋竜王戦

成澤優悟

(県大会は鶴南としては4連覇)

出場

【東北高校選手権大会】

弓道部

男子個人 鈴木涼太 出場

女子団体 出場

女子個人 成澤歩実 出場

アーチェリー部

男子団体 ベスト8

男子個人 金井拓海

女子団体 ベスト8

女子個人 齋藤桃子 6位

水泳部(8位以内まで掲載)

女子2000mバタフライ

五十嵐悠 2位

女子1000mバタフライ

五十嵐悠 4位

男子400m個人メドレー

西脇 凜 8位

女子400m個人メドレー

西脇雪那 4位

女子2000m個人メドレー

西脇雪那 7位

陸上部

女子2000m障害

須貝美齡 3位

男子走高跳

佐藤 駿 出場

【文化部の東北大会】

吹奏楽研究会

東北大会 銀賞

音楽部

東北大会 銅賞

【その他の大会】

野球部 夏の甲子園大会県予選

一回戦

鶴南11 2 東桜学館

二回戦

鶴南8 7 谷地

三回戦

鶴南3 10 東海山形

高校生バイオサミットin鶴南

成澤崇之 鶴岡市長賞

【第61回南工定期戦】

今年も3種目完全勝利!

4年連続!

野球

鶴南8 6 鶴工

サッカー

鶴南1 0 鶴工

職員サッカー

鶴南1 0 鶴工

通信制の課程

【平成28年度全国高等学校
定時制通信制体育大会出場】

卓球

8月1~4日

東京・駒沢体育館

渡邊明日香(26年度生)

個人二回戦 3 0

三回戦 3 0

四回戦 0 3

(個人戦ベスト32)

バドミントン

8月17~20日

神奈川・小田原アリーナ

温井敦(27年度生)

団体一回戦 0 3

個人二回戦 2 1

三回戦 1 2

(個人戦ベスト32)



2015.10.15 「鶴南ゼミ」中間発表会 ポスターセッション

母校だより

全日制の課程

平成27年度の卒業生
197名

平成28年度教職員の異動

(転 出)

柴田 曜子 (校長・退職)

吉川 透

(事務部長・県庁統計企画課)

坂尾 聡

(教頭・数学・県立博物館副館長)

齋藤 一志

(理科・鶴岡中央高校教頭)

飯澤 正明 (数学・高島高校)

鳥海 志帆 (英語・酒田東高校)

佐々木勝博 (英語・新庄北高校)

阿部 智久 (数学・常勤講師退職)

佐藤 美香 (英語・常勤講師退職)

佐藤 真実

(保体・非常勤講師退職)

伊藤 真由美

(司書・鶴岡中央高校)

(転 入)

京谷 伸一 (校長・南陽高校)

結城 正広

(事務部長・県庁統計企画課)



事務部長
結城 正広

小関 剛

(教頭・理科・鶴岡中央高校)



教頭
小関 剛

長谷川 晃 (数学・鶴岡工業高校)

長谷部 満 (理科・庄内農業高校)

石井 哲司 (英語・酒田光陵高校)

小角 令 (英語・鶴岡北高校)

和久田尚矢 (数学・常勤講師)

川村 哲大 (保体・非常勤講師)

齋藤 香 (司書・鶴岡工業高校)

通信制の課程

平成27年度の卒業生

38名

(9月: 0名、3月: 38名)

平成28年度教職員の異動

(転 出)

遠藤 淳一

(教頭・英語・山形中央高校)

佐藤 留里 (数学・鶴岡中央高校)

富樫 和也 (保体・常勤講師退職)

佐藤 真実 (保体・非常勤講師退職)

藤原 祐希恵

(主査・庄総支子ども支援課)

(転 入)

佐藤 りか

(教頭・保体・酒田光陵高校)



教頭
佐藤 りか

長岡 博行 (数学・酒田西高)

齋藤 靖広 (保体・常勤講師)

若嶋 孝 (保体・非常勤講師)

本多 恭子 (主事・新規採用)

【進路状況】

平成27年度進路状況

東大、京大、医学部医学科

に各1名合格

東北大に10人合格

国立大に132人合格

過年度東大理 1名合格

《センター試験》

生徒197人がセンター試験

に出願した。5教科900

点型で本校平均点は611・

9点。全国平均558・2点

を大きく上回り県内高校別で

2位の好結果となった。

《合格状況》

難関の東大、京大にそれぞれ

1名合格を出した。また、

東北大10人、名古屋大1人、

大阪大1人、東京外大1人そ

れぞれ合格。難関の医学部医

学科には、岩手医科に1人合

格した。

主な大学合格者数 (現役のみ・延べ人数)

国公立大学	私立大学				私立大学計									
	弘東宮秋山福茨筑宇埼千東	前北教育田形島城波宮玉葉京	3	10		2	3	24	3	3	2	3	5	3
東京外国語	1	1	20	2	1	2	1	1	7	8	28	132	慶應義塾	3
東京学芸	2	2	2	1	1	1	1	1	7	8	28	132	中央理科	5
新潟県立保健医療	1	1	1	1	1	1	1	1	10	1	1	1	1	151
新潟県立経済	7	7	7	7	7	7	7	7	6	5	4	2	2	195
高崎経	8	8	8	8	8	8	8	8	1	4	1	2	2	
その他	28	28	28	28	28	28	28	28	5	4	1	2	2	
国公立大学計	132	132	132	132	132	132	132	132	1	4	1	2	2	

進路状況

卒業生数		197
国公立大学	119	
私立大学	55	
短期大学	1	
各種学校等	5	
進学者計	180	
就職者数	0	
進学準備等	17	

国立大学の合格者数は132人で在籍数に対しての合格率が67%となり、合格者数も合格率も5クラスに比べて過去2番目の好結果となった。近隣の山形大と新潟大に合せて44人合格したのははじめ、埼玉大、千葉大等に多数合格するなど、各大学で健闘した。

私立大学は延べ195人の合格。難関の慶應大、早稲田大、明治大、中央大、立教大、

法政大など多くの大学に合格者を出し健闘した。

過年度生は、共通一次以降本校では初となる東大理に1人合格。東北では3人しか合格しておらず快挙と言える。医学部医学科では、東大理を筆頭に、東北大学、福島県立医科大にそれぞれ1人合格。他は、東北大歯1人・看1人、大阪大経1人、新潟大歯1人等と健闘してくれた。

鶴岡南高の卒業生にオリンピックへの出場者!

『大沼 賢治さん(昭和23卒・55回)』

オリンピック・リオデジャネイロ大会は終了しましたが、鶴岡南高の卒業生にオリンピックに出場していた方がいることを会員の皆さんにご存知でしたか?

本年の3月末に、大阪で西宮市在住の小北英夫さん(昭和33卒・65回)にお会いした際に「鶴岡南高卒業の大沼賢治さんがオリンピック(ウエイトリフティング)に出場していたが知っているか。鶴岡南高では顕彰されていない。」との指摘がありました。

このため、インターネットや大沼さんが所属していた早稲田大学ウエイトリフティング部に電話で照会し、わかっていることを記します。

- ・昭和28年 早稲田大学第一政治経済学部卒
- ・昭和31年 第16回 オリンピック・メルボルン大会
ウエイトリフティング ライト級 第4位
プレス: 110.0 Kg
スナッチ: 110.0 Kg
ジャーク: 147.5 Kg
トータル: 367.5 Kg
- ・昭和35年 第17回 オリンピック・ローマ大会
ウエイトリフティング ライト級 記録なし
プレス: 0 Kg
- ・昭和33年~昭和53年 早稲田大学ウエイトリフティング部監督



小北さんのお話では、ご本人が昭和33年頃に母校において講話され、オリンピック後は政治家の秘書となり、5~6年前にハワイでお亡くなりになったようですとのことでした。

なお、この件に関しましては、山形鶴翔同窓会 加賀山隆士前会長(昭和34卒・66回)からもお電話があり、山形鶴翔会のホームページ(本年8月26日付)に掲載していますとのことでした。

大沼さんの活躍・消息を記録として残しておきたいと思いますので、詳細をお知りの方は鶴翔同窓会事務局(0235-22-0061)までご連絡ください。

今後、母校からのオリンピックへの出場を期待しています!

(事務局長 森 俊直)

鶴岡南高への寄贈図書の紹介

母校への主な寄贈図書につきまして、ご紹介致します。母校からの貸出しはできませんが、閲覧は可能ですので、是非ご覧になってください。

笹原儀三郎氏(明治35年1月1日~平成6年9月6日)[大正9卒・28回]

【本校第15代校長[昭和23.4.15~昭和32.3.31]、昭和53年高山樗牛賞受賞】

平成7年にご家族からの笹原氏所有の蔵書の寄贈

「文学」「科学哲学」「言語哲学」「分析哲学」「宗教学」「教育学」「経済学」「世界史」
「現象学・実存主義哲学」「社会学・文化人類学」等世界の名著を原書、日本語訳で揃えている

・寄贈図書:「THE NEW BOOK OF KNOWLEDGE(21巻)」「ローマ帝国衰亡史(11巻)」
「シェイクスピア全集(5巻)」等 283冊

丸谷 一氏(大正14年8月27日~平成24年10月13日)[昭和18卒・51回]

【昭和43年「年の残り」で芥川賞受賞、平成23年文化勲章受章】

丸谷氏の姪の落合 良様(昭和29卒・61回)を通じての寄贈

・寄贈図書:「丸谷一全集(12巻)」「オックスフォード英語大辞典(17巻)」等 54冊

藤沢 周平氏(昭和2年12月26日~平成9年1月26日)[昭和21 卒・定16回]

【昭和48年「暗殺の年輪」で直木賞受賞、平成7年紫綬褒章受章】

株式会社文藝春秋を通じてのご本人からの寄贈

・寄贈図書:「藤沢周平全集(26巻)」

緒川 俊夫氏(昭和5年1月3日~平成19年12月4日)[昭和21卒・54回]【名古屋大学教授】

緒川氏の奥様からの寄付金の一部を本校において選定

・寄贈図書等:「化学大辞典」「未来の科学者との対話」等 科学・理化学系の図書44冊
DVD「プラネットアース」「宇宙未知への大紀行」等27枚、本棚

中村 明氏(昭和10年9月9日~)[昭和29卒・61回]【早稲田大学名誉教授】

本校第25代校長佐藤彦一様(昭和29卒・61回)を通じてのご本人からの寄贈

・寄贈図書:「日本語 語感の辞典」「人物表現辞典」「文体論の展開」等 国語図書・文体論関係の著作書 等 44冊

叙勲・表彰 誠におめでとうございます

(敬称略「同窓会だより」第56号以降判明分)

H28.10.1 現在

菊地 正明	旧職員(昭42.~平43) 昭和37卒・69回	平成27年秋	瑞宝小授章(教育功勞)
斎藤 寿一	昭和38卒・70回	平成27年秋	旭日双光章(保健衛生功勞)
園部 金三	昭和31卒・定27回	平成27年秋	瑞宝双光章(文部行政事務功勞)
柴田 曜子	第32代校長(平25.4~平28.3) 通信教頭(平16.4~平19.3)	平成27年度	文部科学大臣教育者表彰
金丸 裕之	平成元卒・96回	平成27年度	文部科学大臣優秀教職員表彰
齋藤 忠雄	昭和20 卒・在籍	平成28年2月	瑞宝双光章(教育功勞)
大井 昌紀	平成28卒・123回	平成27年度	山形県スポーツ賞・栄光賞
五十嵐 大地	平成28卒・123回	平成27年度	山形県スポーツ賞・栄光賞
熊沢 拓巳	平成28卒・123回	平成27年度	山形県スポーツ賞・栄光賞
吉田 大志	平成28卒・123回	平成27年度	山形県スポーツ賞・栄光賞
鶴岡南高アーチェリー部		平成27年度	山形県スポーツ賞・栄光賞
鶴岡南高男子アーチェリー部		平成27年度	山形県体育協会表彰・殊勲賞

訃報 謹んで哀悼の意を表します

(敬称略「同窓会だより」第56号以降判明分)

H28.9.30 現在

島田 三郎	旧職員 S39.4 ~ S57.3	斎藤 彰一	昭23卒・55回	富樫 啓作	昭31卒・商5回
石黒 栄一	校医 S44.4 ~ H8.3 昭18卒・51回	菊池 安行	昭23卒・在籍	山口 正志	昭31卒・定27回
杉目 睦弘	旧職員 H4.4 ~ H5.3	高橋 義孜	昭24卒・56回	佐藤 友保	昭32卒・64回
江部 忠夫	昭9卒・42回	佐藤 正幸	昭25卒・57回	中根 暎介	昭32卒・定28回
梅本 昌一	昭10卒・43回	小島 和雄	昭25卒・57回	板倉(山口)利	昭33卒・65回
平田 秀雄	昭14卒・47回	榎本(斎藤)孝	昭25卒・57回	本間 忠	昭33卒・65回
阿部 安太郎	昭15卒・48回	野尻 徳子	昭26卒・58回	菅原 祥二	昭33卒・65回
小池 淳	昭15卒・48回	高橋 吉郎	昭26卒・58回	富樫 幸作	昭33卒・商7回
梅本 俊芳	昭15卒・48回	武野 欽一	昭26卒・58回	渡邊 勇夫	昭33卒・商7回
川上 治夫	昭16卒・49回	竹内 庸介	昭26卒・58回	石川 八谷	昭34卒・66回
小池 興一郎	昭16卒・49回	佐藤 司郎	昭26卒・58回	寒河江 辰雄	昭34卒・66回
小林 孫一郎	昭17卒・50回	斎藤(佐藤)初子	昭27卒・59回	林 健	昭34卒・66回
阿部 吉男	昭17卒・定12回	高丸(三井)洋子	昭27卒・59回	佐藤 瓊子	昭34卒・66回
高橋 義順	昭18卒・51回	佐藤 信五郎	昭27卒・59回	大瀧 浩司	昭34卒・商8回
齋藤(柴田)實	昭18卒・51回	戸川 安弘	昭27卒・在籍	伊比 升男	昭35卒・67回
岸田 弘	昭18卒・51回	加藤 長治	昭27卒・定22回	奥山 輝美	昭35卒・67回
中山 喬	昭18卒・定13回	水口 了二	昭27卒・定22回	黒羽根 秀機	昭35卒・67回
渡部 久喜	昭19卒・52回	小林(日向)仙	昭28卒・60回	石川 昌平	昭35卒・67回
三矢 正旦	昭19卒・52回	佐藤(佐藤)弘子	昭28卒・60回	山口 幸夫	昭35卒・商9回
池原 昭蔵	昭19卒・52回	寒河江 啓夫	昭28卒・60回	原田 剛	昭37卒・69回
墨井 峯雄	昭19卒・52回	伊藤 司朗	昭28卒・60回	川越 忠弘	昭38卒・定34回
松浦 茂	昭19卒・52回	諏訪 進	昭28卒・定23回	丹羽(渡会)美代子	昭39卒・商13回
斎藤 平	昭19卒・在籍	伊藤 長蔵	昭28卒・定23回	野口 元三	昭40卒・72回
平田 実	昭20 卒・53回	熊谷(渡部)波留子	昭28卒・定23回	真島 俊夫	昭42卒・74回
助川 孝吉	昭20 卒・53回	佐藤 晶	昭28卒・定23回	五十嵐 仁吉	昭42卒・74回
渡部 英夫	昭20 卒・53回	佐藤 壮一	昭29卒・61回	梅木 幸市	昭44卒・定40回
齋藤 實	昭20 卒・在籍	後藤 昌利	昭29卒・61回	五十嵐 弘	昭47卒・79回
伊藤 謙吉	昭20卒・定15回	宮崎(富樫)光子	昭29卒・61回	富樫 涉	昭48卒・80回
菅原 利雄	昭21卒・54回	佐藤 博次	昭29卒・定25回	阿部 隆	昭53卒・85回
宮田五郎左工門	昭21卒・54回	松田孝太郎	昭30卒・62回	工藤 弘充	昭59卒・91回
野沢 久治	昭21卒・54回	佐藤 平	昭31卒・63回	山口 秀	昭59卒・91回
小島 崇	昭21卒・定16回	渋谷 栄蔵	昭31卒・63回	遠田 和範	平4卒・99回
大戸 兵亮	昭23卒・55回	嶋屋 隆夫	昭31卒・63回		
		高梨 文夫	昭31卒・商5回		

お詫びと訂正：平成27年度「同窓会だより」(第56号)『訃報』欄における 石田 秀式 様(昭和20 卒・53回)はご存命でございます。申し訳ございませんでした。ご本人にお会いし、お詫びを申しあげました。平成27年度「同窓会だより」(第56号)の訂正をお願い致します。

平成 27 年度 鶴翔同窓会 会務報告

月日(曜)	名 称	場 所	出 席 者
平成27年4月8日	鶴岡南高 全日制入学式(入学者200名)	鶴翔会館	会長、事務局長
4月12日	鶴岡南高 通信制入学式(入学者46名)	鶴翔会館	中條副会長
4月22日	平成26年度会計監査	鶴翔会館事務室	会計監事、事務局長他
5月13日	第1回役員会	グランド エル・サン	役員、事務局
5月20日	創立127周年記念祝賀会 第2回実行委員会	鶴南高会議室	82・92・102回生、事務局
6月4日	理事会	鶴南高会議室	役員、理事、事務局
6月7日	関西鶴翔同窓会 総会	大阪・日本料理「十方」	田中副会長、校長
6月13日	東京鶴翔同窓会 総会	大手町サンケイホール	会長、校長
6月24日	羽黒支部 総会	羽黒(大進坊)	会長、校長
6月29日	創立127周年記念祝賀会 第3回実行委員会	鶴南高会議室	82・92・102回生、事務局
7月1日	13:00～創立記念式典 14:00～記念講演 鈴木祐一郎氏(50年・82回卒) 16:45～総会 18:00～創立127周年祝賀会	鶴翔会館 グランド エル・サン	
7月25日	鳴鶴会(北海道鶴翔同窓会) 総会	札幌ガーデンパレス	事務局長
8月3日	第2回役員会	鶴翔会館事務室	役員、事務局
8月22日	新潟支部 総会	新潟東映ホテル	滝川副会長、校長
8月29日	仙台鶴翔同窓会 総会	仙台スマイルホテル	國井副会長、全日教頭
9月9日	山形鶴翔同窓会 総会	山形グランドホテル	会長、校長
10月3日	通友会 総会	グランド エル・サン	中條副会長、校長、通信教頭
11月1日	同窓会だより「第56号」発行		
11月15日	酒田支部 総会	酒田セントラルホテル	会長、校長
11月21日	朝日支部 総会	朝日「田麦荘」	全日教頭
12月13日	余目支部 総会	余目「和心」	國井副会長、校長
平成28年2月3日	村山地域山形県職員「鶴南会」	山形「能登屋瑞宝閣」	会長
2月11日	櫛引支部のつどい	くしびき温泉ゆ～Town	田中副会長
2月17日	創立128周年記念祝賀会 第1回実行委員会	鶴南高会議室	83・93・103回生、事務局
3月1日	鶴岡南高 同窓会入会式 全日制卒業式(卒業生197名)	鶴翔会館	会長、事務局長 会長、副会長、事務局長
3月3日	第3回役員会	鶴翔会館事務室	役員、事務局長・次長
3月13日	鶴岡南高 通信制卒業式(卒業生38名)	鶴翔会館	中條副会長、校長、通信教頭

ホームページのリニューアル並びにバナー広告について

- ・本年4月1日にホームページのリニューアルを行いました。今後とも内容の充実に努めますので、是非ご覧になってください。
- ・また、同時に、バナー広告の掲載を始めましたので、会員の皆様の掲載をお願い致します。掲載をご希望される方は、下記まで申込を行ってください。

申込先：鶴岡市若葉町26-31 鶴岡南高等学校事務室内鶴翔同窓会 TEL0235-22-0061
 なお、掲載の詳細については、管理委託先の(株)アイディアが担当します。
 鶴岡市みどり町4-12 TEL.0235-29-6188、FAX.0235-29-6190

規 格：サイズ 横 496ピクセル×縦 165ピクセル
 形 式 JPEGまたはGIF(アニメーションは不可)
 掲載料：10,000円/1年

「同窓会だより」への広告掲載

「同窓会だより」(平成27年度・第56号)から、本会運営の安定化を図るため、右のように広告の掲載始めました。

広告の規格は(90×30mm)・モノクロで、広告料は15,000円となっています。

多くの広告掲載をお願い致します。

広告をご希望される場合は、本会事務局(鶴岡南高等学校事務室)までお知らせください。

TEL:(0235)22-0061

有限会社 竜泉・滝川 滝川蒲鉾店

代表取締役 滝川 義朗
(昭和51卒・83回)

〒997-0034 山形県鶴岡市本町1丁目8-27 TEL 0235-22-0281

IMAGINATION & COMMUNICATION

鶴岡印刷株式会社

代表取締役
佐藤 慎一(昭和42卒・74回)

山形県鶴岡市大淀川字洞合1-1 PHONE.0235-22-3080 FAX.0235-24-8698



平成 27 年度 鶴翔同窓会一般会計決算

自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日
単位:円

1 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 会 費	6,515,000	6,175,800	339,200	
入 会 金	1,150,000	1,175,000	25,000	@ 5,000 × 235 名 (全日 : 197、通信 : 38 名)
維 持 会 費	5,365,000	5,000,800	364,200	@1,677 件
2 広 告 料	150,000	150,000	0	新規 @15,000 円 × 10 件
3 手 数 料	-	-	-	事業積立金会計への移行
4 寄 付 金	-	-	-	事業積立金会計への移行
5 繰 入 金	0	0	0	
6 繰 越 金	849,133	849,133	0	前年度からの繰越金
7 雑 収 入	5,867	4,633	1,234	預金利息
合 計	7,520,000	7,179,566	340,434	

2 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 運 営 費	1,680,000	1,737,090	57,090	
会 議 費	50,000	48,439	1,561	事務局会議・役員会・理事会・総会
需 用 費	150,000	103,736	46,264	はがき・切手・事務用品・インターネット接続(新規)他
事 務 費	660,000	660,000	0	PTA 書記給与負担金
旅 費	400,000	417,825	17,825	支部総会出席者旅費等
支 払 手 数 料	220,000	186,712	33,288	維持会費・寄付金振替手数料
慶 弔 費	50,000	39,456	10,544	レタックス
雑 費	150,000	280,922	130,922	祝金、事務局員活動費、野球広告、見舞金 他
2 事 業 費	5,210,000	4,839,478	370,522	
同窓会報印刷発行費	2,800,000	2,704,850	95,150	印刷費・封筒・発送費等
創 立 記 念 事 業 費	700,000	680,044	19,956	案内印刷、看板、講演料、実行委員会会議費 他
ホ ー ム ペ ー ジ 運 営 事 業 費	150,000	132,084	17,916	ホームページ運営費
支 部 総 会 補 助 費	160,000	175,000	15,000	支部総会祝金 (庄内 5,000 円、他 10,000 円)
在 校 生 活 動 奨 励 費	500,000	550,000	50,000	全日 300,000 円、通信 100,000 円、部活動祝金 150,000 円
卒 業 記 念 品	200,000	197,500	2,500	卒業証書ファイル
鶴翔会館持整備費	-	-	-	鶴翔会館ホール照明ランプ (LED 新設による)
事 業 積 立 金	400,000	200,000	200,000	事業積立金会計への繰出金
特 別 会 計 繰 出 金	300,000	200,000	100,000	学校支援活動特別会計への繰出金
予 備 費	630,000	25,272	604,728	
合 計	7,520,000	6,601,840	918,160	

[収入済額] 7,179,566 円 - [支出済額] 6,601,840 円 = 577,726 円 (次年度への繰越)

平成 27 年度 鶴翔同窓会事業積立金会計決算

自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日
単位:円

1 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 一 般 会 計 繰 入 金	400,000	200,000	200,000	一般会計からの繰入れ
2 寄 付 金	1,600,000	1,390,000	210,000	一般会計からの移行
3 手 数 料	0	0	0	一般会計からの移行 (「 会員名簿 」 発行時の還元金) H28 年度受入れ
4 繰 越 金	5,854,145	5,854,145	0	前年度からの繰越金
5 雑 収 入	855	770	85	預金利息
合 計	7,855,000	7,444,915	410,085	

2 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 教 育 振 興 事 業 費	170,000	405,162	235,162	パソコン・プリンター購入費、綴帳修理費
2 特 別 会 計 繰 出 金	100,000	100,000	0	鶴翔会館エアコン特別会計へ
3 一 般 会 計 繰 出 金	0	0	0	
4 予 備 費	7,585,000	80,935	7,504,065	「 会員名簿 」 発行のための事務費
合 計	7,855,000	586,097	7,268,903	

[収入済額] 7,444,915 円 - [支出済額] 586,097 円 = 6,858,818 円 (次年度への繰越)

平成 27 年度 鶴翔同窓会学校支援活動特別会計決算

自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日
単位:円

1 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 一 般 会 計 繰 入 金	0	200,000	200,000	
2 積 立 金 会 計 繰 入 金	300,000	0	300,000	
3 寄 託 金	500,000	674,028	174,028	全日卒業生から
4 繰 越 金	71,142	71,142	0	前年度からの繰越金
5 雑 収 入	858	170	688	預金利息等
合 計	872,000	945,340	73,340	

2 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 事 務 費	10,000	0	10,000	
2 激 励 活 動 費	250,000	273,003	23,003	新会員受験対策支援 (仙台・東京方面)
3 整 備 活 動 費	150,000	120,000	30,000	柔道場量表取替え
4 助 成 活 動 費	150,000	92,232	57,768	ミシン点検調整
5 予 備 費	312,000	0	312,000	
合 計	872,000	485,235	386,765	

[収入済額] 945,340 円 - [支出済額] 485,235 円 = 460,105 円 (次年度への繰越)

【 寄託金内訳 】

平成 27 年 3 月 卒業 (122 回) 一同様 : 441,678 円 昭和 50 年 3 月 卒業 (82 回) 同期会様 : 150,284 円
昭和 40 年 3 月 卒業 (72 回) 同期会様 : 30,000 円 平成 7 年 3 月 卒業 (102 回) 同期会様 : 52,066 円

平成 27 年度 鶴翔同窓会鶴翔会館エアコン特別会計決算

自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日
単位:円

1 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 ガ ス 使 用 料 金	150,000	56,765	93,235	PTA 等からのガス使用料収入
2 積 立 金 会 計 繰 入 金	100,000	100,000	0	室外機メンテナンス、設備修理費の積立
3 繰 越 金	102,399	102,399	0	前年度からの繰越金
4 雑 収 入	601	17	584	預金利息等
合 計	353,000	259,181	93,819	

2 支出の部

科 目	予 算 額	決 算 額	比較増減	備 考
1 ガ ス 使 用 料 金	150,000	56,765	93,235	鶴岡ガス株への支払
2 メ ン テ ナ ン ス ・ 修 理 費	0	0	0	
3 繰 出 金	0	0	0	
4 予 備 費	203,000	0	203,000	室外機メンテナンス、設備修理費の積立
合 計	353,000	56,765	296,235	

[収入済額] 259,181 円 - [支出済額] 56,765 円 = 202,416 円 (次年度への繰越)

平成 28 年度 鶴翔同窓会一般会計予算

自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日
単位:円

1 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1 会 費	6,250,000	6,175,800	74,200	
入 会 金	1,150,000	1,175,000	25,000	@5,000 円 × 230 名
維 持 会 費	5,100,000	5,000,800	99,200	@3,000 円 × 1,700 件
2 広 告 料	250,000	150,000	100,000	同窓会だより: @15,000 円 × 10 件、HP パナー広告: @ 10,000 × 10 件
3 繰 入 金	0	0	0	
4 繰 越 金	577,726	849,133	271,407	前年度からの繰越金
5 雑 収 入	12,274	4,633	7,641	預金利子、会員名簿売却代 他
合 計	7,090,000	7,179,566	89,506	

2 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1 運 営 費	1,700,000	1,737,090	37,090	
会 議 費	50,000	48,439	1,561	事務局会議・役員会・理事会・総会
需 用 費	120,000	103,736	16,264	はがき・切手・事務用品・インターネット接続 他
負 担 金	680,000	660,000	20,000	PTA 書記給与負担金(従来の名称「事務費」)
旅 費	400,000	417,825	17,825	支部総会出席者旅費等
支 払 手 数 料	200,000	186,712	13,288	維持会費・寄付金振替手数料
慶 弔 費	0	39,456	39,456	「雑費」へ移行
雑 費	250,000	280,922	30,922	祝金、事務局員活動費、慶弔関係、諸雑費
2 事 業 費	4,820,000	4,839,478	19,478	
同窓会報印刷発行費	2,750,000	2,704,850	45,150	印刷費・封筒・発送費等
創 立 記 念 事 業 費	630,000	680,044	50,044	案内印刷、看板、講演料、実行委員会会議費 他
ホームページ運営事業費	170,000	132,084	37,916	ホームページ運営費
支 部 総 会 補 助 費	170,000	175,000	5,000	支部総会祝金(庄内 5,000 円、他 10,000 円)
在 校 生 活 動 奨 励 費	500,000	550,000	50,000	全日 300,000 円、通信 100,000 円、部活動祝金 100,000 円
卒 業 記 念 品	200,000	197,500	2,500	卒業証書ファイル
事 業 積 立 金	200,000	200,000	0	事業積立金会計への繰出金
特 別 会 計 繰 出 金	200,000	200,000	0	学校支援活動特別会計への繰出金
3 予 備 費	570,000	25,272	544,728	
合 計	7,090,000	6,601,840	488,160	

平成 28 年度 鶴翔同窓会事業積立金会計予算

自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日
単位:円

1 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1 一 般 会 計 繰 入 金	200,000	200,000	0	
2 寄 付 金	1,000,000	1,390,000	390,000	@10,000 円 × 100 件
3 手 数 料	1,100,000	0	1,100,000	「会員名簿」発刊時の還元金
4 繰 越 金	6,858,818	5,854,145	1,004,673	前年度からの繰越金
5 雑 収 入	1,182	770	412	預金利子
合 計	9,160,000	7,444,915	1,715,085	

2 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1 教 育 振 興 事 業 費	200,000	405,162	205,162	
2 特 別 会 計 繰 出 金	100,000	100,000	0	鶴翔会館エアコン特別会計へ
3 一 般 会 計 繰 出 金	0	0	0	
4 予 備 費	8,860,000	80,935	8,779,065	「会員名簿」発刊のための事務費 他
合 計	9,160,000	586,097	8,573,903	

平成 28 年度 鶴翔同窓会学校支援活動特別会計予算

自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日
単位:円

1 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1 一 般 会 計 繰 入 金	200,000	200,000	0	
2 積 立 金 会 計 繰 入 金	0	0	0	
3 寄 託 金	400,000	674,028	274,028	全日卒業生、同期会等から
4 繰 越 金	460,105	71,142	388,963	前年度からの繰越金
5 雑 収 入	895	170	725	預金利子等
合 計	1,061,000	945,340	115,660	

2 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1 事 務 費	10,000	0	10,000	
2 激 励 活 動 費	280,000	273,003	6,997	新会員受験対策支援(仙台・東京方面)
3 整 備 活 動 費	150,000	120,000	30,000	ハード面の整備
4 助 成 活 動 費	150,000	92,232	57,768	ソフト面の助成
5 予 備 費	471,000	0	471,000	
合 計	1,061,000	485,235	575,765	

平成 28 年度 鶴翔同窓会鶴翔会館エアコン特別会計予算

自 平成 28 年 4 月 1 日 至 平成 29 年 3 月 31 日
単位:円

1 収入の部

科 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1 ガ ス 使 用 料 金	100,000	56,765	43,235	PTA 及び第三者からのガス使用料収入
2 積 立 金 会 計 繰 入 金	100,000	100,000	0	室外機メンテナンス、設備修理費の積立
3 繰 越 金	202,416	102,399	100,017	前年度からの繰越金
4 雑 収 入	584	17	567	預金利子等
合 計	403,000	259,181	143,819	

2 支出の部

科 目	本年度予算額	前年度決算額	比較増減	備 考
1 ガ ス 使 用 料 金	100,000	56,765	43,235	鶴岡ガス(株)への支払
2 メ ン テ ナ ンス ・ 修 理 費	0	0	0	
3 繰 出 金	0	0	0	
4 予 備 費	303,000	0	303,000	室外機メンテナンス、設備修理費の積立
合 計	403,000	56,765	346,235	

母校創立128周年 7/1

式典及び講演……鶴翔会館
総会及び祝賀会……Gエル・サン



写真撮影協力者 原田孝昭(平8卒・103回) 木村 築(昭61卒・93回) 渡邊春信(昭51卒・83回) H.Watanabe

編集後記

鶴翔同窓会だより57号をお届けします。各地のさまざまな年代の会員からご活躍の近況をお寄せいただき、ありがとうございました。より多くの会員の声を届け、写真も見やすく大きくして皆様に楽しくお読みいただけますよう、事務局以下六名全員で紙面作りに取り組んでいます。会員からもオリンピックに出場した同窓生がいたぞとのタイムリーな情報をいただきました。ありがとうございました。

今号よりの新企画である「部活・委員会OB会紹介」へも皆様からの情報をお待ちしています。九月十一日鼠ヶ関での第36回全国豊かな海づくり大会海上歓迎・放流行事では両陛下をお迎えして鶴岡南高吹奏楽研究会が演奏を披露。今号ではちょうど吹研OB会を紹介しています。在校生が活躍する表紙写真はいかがでしょうか。

二年後は創立百三十周年を迎えます。今後とも同窓会へご意見をお寄せいただき、一層のご支援をお願いいたします。

委員長 高樹 陽子